

### 放課後等デイサービス どんぐり 一般社団法人 支援プログラム 5領域のつながり サン・ビレッジ

2025年 作成日 1月31日

営業時間:12時30分から18時30分(どん1.2)

送迎の有無(あり

) なし

11時から18時(どん3)

### 支援理念

発達の過程や特性等に応じた発達上のニーズ、適応行動 の状況や特に配慮が必要な事項等を丁寧に把握し、合理 的な配慮を提供する。

利用するすべてのこどもをありのままに受け止めて、こ どもが自分らしく過ごせる場であるという安全・安心の 土台の上で、総合的な支援を提供する。

こどものライフステージに沿って、関係者が連携を図り 切れ目のない支援を提供する体制を構築する。



活動

#### <健康・生活> 安心できる居場所

- ○基本的スキルの習得
- ○ADLスキルの獲得 ○時間と空間の構造化
- ○マナーの習得
- ○見通しを持った生活
- ○持ち物の管理

☆健康観察・検温 ☆あいさつの励行

☆サイン・学習・活動の 習慣化 ☆活動中のマナー定着

☆決めた場所への荷物置 き・適切な場の共有 ☆道具の正しい使い方

### 支援方針

本人支援の5領域(「健康・生活」、「運動 ション |、「人間関係・社会性」)の視点等を踏 まえたアセスメントを行う。

○5領域の視点を網羅した支援(総合的な支 援)を行うことに加え、専門性に基づきアセ スメントを行い、5領域のうち、特定(又は 複数)の領域に重点を置いた支援を計画的及 び個別・集中的に行う。

○こどもや家族の意向を受け止め、こどもと 家族の安定した関係に配慮して、こどもの暮 らしや育ちを支える。

○とどもの育ちや家庭の生活の支援に関わる 地域の関連機関との連携のため、

移行支援」「地域支援、地域連携」を行

### 職員の質の 向上

○研修計画の策定と実施及び 機会の確保

○発達特性に応じた適切な支 援のための研修の実施

○対応が難しいこどもや家族 等、個別ケースへの支援の質 向上の研修の実施



# 心身機能 身体構造

#### <運動・感覚> 身体の上手な使い方を身につける

- ○感覚統合を促す粗大運動や微細運動 ○力加減や道具の扱い等の協調運動
- ○手先の器用さ等協応動作
- ○学習時の姿勢の保持

#### ☆体育指導員の支援

☆用具を使った運動・ストレッチ運動 ☆折り紙やプラ板などを使った作品 作り・季節に応じた小物作り ☆クッキー・パンなどのクッキング ☆豆つかみ・バランスゲーム ☆正しい道具使い

#### ≺認知・行動> 適切な判断と行動の習得

- ○認知行動療法 ○空間認知
- ◯言葉や物の概念形成
- ○見る力、聴く力、想像力、記憶力
- ○スケジュールによる活動の見通し

☆ビジョントレーニング

☆コグトレ ☆ゲームの遊び方理解

☆カードゲーム・立体パズル・活脳パズ ルへの参加

☆イベントカレンダーによる活動の見通し

### <言語・コミュニケーション> 円滑なコミュニケーションスキルの獲得

- ○共同注意の獲得 ○意思の伝達
- ○状況に応じたやりとり ○自分を表現する
- ○個に応じたコミュニケーション方法
- ○特性に応じた読み書き能力の向上

☆言葉のキャッチボール

☆話しやすい場・グループ活動における

コミュニケーション

☆会話を通じた語彙の獲得 ☆描画や工作での自己表現

☆状況に応じた読み書きの練習

# 参加

#### <人間関係・社会性> 良好な人間関係づくりと社会生活に必要な スキルの獲得

○SST(順番、役割、ルール、約束等)

○感情のコントロール ○情動調整

○仲間づくりや集団参加 ○相互理解と共感 ○勝ち負けを受け入れる

☆他者との気持ちの折り合いのつけ方 ☆小集団での遊びや運動を通じたSST

☆良いとこ見つけ ☆一人一人の活躍・努力の共有、称賛 ☆クールダウンスペースを利用した 気持ちの切り替え

☆個に応じたトークンエコノミー

☆体験型イベント参加

# 個性の尊重

・人権への配慮~ 人格と意見の尊重

・環境の整備~ 興味関心の拡がりと 選択の保障

# 移行支援

- ・在籍校や園との連携
- ・ライフステージの切り替えを 見据えた移行先との連携

# 家族支援

- ・家族からの相談に対する助言
- ・障害の特性に配慮した家庭環境の 整備



### 地域支援・連携

・地域の関係機関との連携

# 個人因子

## 環境因子